

# あきた労福協

2017年10月1日 NO. 119

発行所／秋田県労働福祉協議会  
 発行責任者 高橋暢嘉  
 秋田市中通6丁目7-36労館内  
 Tel 018-833-1875 · Fax 018-833-0506  
 ホームページ <http://akita.rofuku.net/>

## -東日本大震災復興支援- 第30回チャリティゴルフ大会



【優勝 渡辺大咲 氏】

当日は天気も良く、メンバーにも恵まれ、気楽に楽しくプレーする事が出来ました。おかげで優勝することが出来、大変うれしく思っております。また来年も出場して、楽しくプレーしたいと思います。有難うございました。

2017年9月8日(金)秋田カントリー倶楽部において144名の参加で開催した。大会では、当日設置したカンパ箱に51,384円のカンパ金が寄せられると共に労働組合、企業、労福事業団体から116万円のプログラム協賛広告が寄せられた。これらを基に昨年同様に各福祉団体へ寄贈する予定である。また、今年も引き続き東日本大震災で被災された方々の復旧・復興に役立てていただくため、支援を行う予定。

## 【大会入賞者】

優勝	渡辺 大咲	全日通労働組合秋田支部
準優勝	土屋 利昭	日本通運株式会社秋田航空支店
第3位	佐々木 直樹	電機連合秋田地域協議会
第4位	伊藤 徹	秋田地区労福協
第5位	川村 巧	三種町職員労働組合
レディス優勝	加藤 志有子	全労済指定整備工場加藤自動車
ベスグロ賞	黒崎 義雄	社会福祉協議会

### 2017年度地区労福協代表者会議

2017年9月4日(月)フォーラムアキタにおいて開催した。年間活動計画に伴う県労福協から地区労福協活動への協力要請などを行った。会議で出された意見・要望等は、今後、県労福協の諸活動に反映させていくとともに地区労福協が相互に連携しながら活動を展開していくことを確認した。

### 北部労福協「第4回労働者福祉運動の理念・歴史講座」

2017年9月11(月)～12日(火)にわたり山形市「大手門プラザ」において開催した。労働運動・労働者自主福祉運動が果たしてきた役割を理解するとともに、次代を担うリーダーの育成を図ることを目的とし、北海道・東北各県から71名が参加した。

#### 東北労働金庫秋田支店 斎藤 大亮 氏

「憲法より早く制定された労働組合法」、「労金と全労済の生みの親は労働組合と労福協」、改めて運動の歴史と今後のあり方について学ぶ機会となりました。少子高齢化、格差社会の拡大等、多くの問題に直面する社会の中で、今一度「共助」の改革とその創造の必要性を強く感じました。

#### 全労済秋田推進本部大館支所 草間 栄治 氏

戦前から始まった労働運動、労働者自主福祉運動が時を経て、戦後の社会に生きる人々のニーズに応えるように全労済が誕生したこと、全労済職員は「共済事業に化した社会運動家」ということを学びました。この背景、考えを意識して推進活動に取り組みます。



**推進役就任のごあいさつ****— 労働者自主福祉運動のさらなる発展を期して —**

2017年9月1日より秋田県労働福祉協議会（秋田労福協）の「推進役」としてお世話になることとなりました。労働者・勤労者の福祉活動の原点は「共助」であり、お互いが協力し助け合うことによって「安心・共生」の福祉社会を築いていかなければなりません。労福協と労働組合、そして労働金庫・全労済・生協などがともに運動する主体となって連携強化を図るとともに、労働者自主福祉運動発展のために努力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げご挨拶といたします。



[推進役 石井純一]

今後の主な行事

**☆ 北部労福協第42回研究集会・2017秋田労福協研究集会 ☆**

開催日時：2017年10月12日(木) 15:30～

開催場所：秋田県労働会館(フォーラムアキタ)

基調講演：「奨学金制度改善運動の成果と今後の課題」

特別講演：「花火の街 大曲」を語る

問い合わせは、秋田県労働福祉協議会まで 電話 018-833-1875

秋田県  
最低賃金  
**738円**  
(時給)

**「ライフサポートセンターあきた」－ 相談員が変わります－**

◆ 新任：中村悦郎 ◆ アドバイザーとしてお世話になることになりました。

少子高齢化社会の中、特に高齢者には様々な悩みを抱えて生活していることと思います。そのような方々の悩みを聞くことにより少しでもお役にたてれば良いかとの思いをもって勤めさせていただきますので宜しくお願いします。

◆ 退任：高橋征夫 ◆ 2010年以来7年間、約1,400件の相談に対応し、無事その任を果たすことが出来ました。大変貴重な経験でした。

この間のご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



はたらく人の、生活応援 BANK。 



平日、忙しい人のために  
休日に相談できる  
ところがあるんだって。  
けっこう、いいよね。

**だから、私も、ろうきん。**

ろうきんアンバサダー  
高梨 鹿 紹介サイト

ZENROSAI NEWS 【0517B009】

**全労済の住まいの共済**

新火災共済・新自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済



0120-980-6039

TEL: 0120-980-6039

FAX: 0120-980-6039

新規登録・お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ